

請 願 番 号	請願第13号
件 名	岐阜市新庁舎建設の見直しを求める請願
受 理 年 月 日	平成29年11月22日
紹 介 議 員	服部勝弘、松原徳和、田中成佳、高橋和江、井深正美、 原 菜穂子、堀田信夫
付 託 委 員 会	総務委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>40年後の岐阜市の人口が現在の41万人から27万人に減少すると予測される中、延べ床面積が現本庁舎ほか4庁舎合計の1.6倍である18階建ての新庁舎が来年4月に着工される計画であるが、新庁舎建設は当初9階建ての設計提案がされており、なぜ18階建てに変更されたのか、いまだに明確な市の説明はない。</p> <p>建物の年間維持費も現状の約1億7,000万円から約4億1,000万円に膨れ上がる。また、平成27年度には市債合計残高2,487億円を抱えており、その利息支払い額だけで1年に39億円もある。新庁舎建設費は当初254億円であったが、入札不調による予定価格見直し等により建設事業費はさらに増加し、借金の負担も増大する。</p> <p>現設計図で示された低層階と中・高層階(4～18階)からなるのっぼな構造では無駄が多く、スペースの有効活用及び建設費を削減する観点からも、機能的で耐震性がより向上する安定した設計構造に見直すべきである。</p> <p>わずか2カ月間に計画の見直しを求める市民の署名は7,000人余も寄せられており、その結果からも市役所は豪華な内装及び外観ではなく、安全でわかりやすく、使いやすいもので、子や孫への負担をかけない建設内容への見直しの声大きい。</p> <p>以上のことから、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新庁舎建設の平成30年4月着工は見送ること。 2 新庁舎は低層で箱型の機能的な構造にすること。 	
付 託 年 月 日	平成29年12月 5日 (火)
審 査 結 果	平成29年12月11日 (月) 不採択